

読書から得たもの

校長 宅島 健司

今校長室の机の上に、「箴言集」と呼ばれる本があります。「箴言集」岩波文庫版(絶版)・内藤濯(あろう)(サン・テグジュペリ「星の王子様」を訳した人)訳、「箴言と省察」グラフ社・内藤濯訳、「世界の教養全集2」に所収「箴言と省察」平凡社版・市原豊太、平岡昇訳、「人生の知恵 一省察と箴言一」角川文庫版(絶版)・吉川浩訳、同復刻本、「運と気まぐれに支配される人たち ラ・ロシュフコー箴言集」角川文庫版・吉川浩訳、「ラ・ロシュフコー箴言集」岩波文庫版・二宮フサ訳の合計7冊です。フランスのラ・ロシュフコーが書いた「マキシム」と呼ばれる本を訳した本です。

その内容は、人間を駆り立て、突き動かしているものは何か。それはすべて自己愛、つまり自分自身に執着し、自分を限りなく愛する精神である。という考えに首尾一貫しています。例えば、自分が嫌いだという人は、自分が思い描いた自分ではないから、嫌いだと思っているに過ぎないということです。その内容は、

2節「自己愛というものは、あらゆるおべっかつかいのうち、最もしたたかなものである」

3節「人間の自己愛という領土で、たとえ今後いかなる発見があったにしても、まだまだそこには知られざる土地が残っている」

4 2節「理性の言うことに必ず従うという力は、われわれに備わっていない」

2 3 4節「理路整然たる意見に、あれほど頑固に反対する人があるのは、もの分かりが悪いというより、とかく自尊心のせいなのだ。つまり賛成派についても今さら先頭に立てないし、そうかといって、人の後ろにつくのもしゃくなのだ」

3 4 7節「われわれは自分の意見に与する(同じ)人でないと、良識ある人とは考えない」などなど。

書かれていることがすべて正しいとは思いません。「えっ、そうかなあ」と思うところもあります。しかし、自分の言動や心の動きをよくよく観察してみると、自分の中の自己愛に気付くことが山ほどありました。

私が心から尊敬する先生が、生徒会誌に種田山頭火の俳句を記載されていました。その中に「どうしようもない私が歩いている」という句を見つけた時、教師の鑑と思えるような先生でさえ、「どうしようもない私」と思われることがあるのだと印象深かったのを覚えています。私は、自分だけでなく、自分の周りにも含めて全ての人が、「自己愛」を持ち、己に執着している自分から離れることも、逃げることもできない存在であると思っています。誰しも自分から逃げることはできません。自分をごまかそうとしても、影のように己自身についてきて離れません。

「自己愛」について、気を付けなければならないのは、自分の周りにあるものごとや言動を人はつい自分の都合のいいように解釈しているということです。もっと穏やかにいえば、人はものごとを自分の都合のいいように解釈する傾向を持つということです。自分がそういう存在であることに気を付けていても、つい自己愛が出てしまうのが人です。「自分が良ければ」とか「自分さえ良ければ」となりがちです。「人間」とは人と人との間と書きます。人は一人では生きていけません。「自分だけ良ければ」という姿勢では、最終的に自分が損をする立場に追い込まれるのではないかと思います。なぜなら他人もあなたと同様に「自己愛」を持った人だからです。

最後に、辛辣で痛烈なこの本の中であって、珍しい一節を紹介します。

100節「精神の淑やかさとは、さりげなく相手の喜ぶことを言うにある」

体育大会

授業開始日から長引く荒天の影響もあり、設営・予行等を予定通り行うことができず練習も思うようにいかなかった今年の体育祭準備。今年も当日の朝早くから生徒職員でグラウンド設営整備を行いました。また、雨の予報が嘘であったかのような絶好の体育大会日和の下、予定通り実施することができました。

今年元気よくはつらつとした3年生のリーダーシップが大変印象的な大会となりました。また、短い時間の中で創り上げたとは思えないクオリティの高い応援と装飾が大会を盛り上げてくれました。各競技も西高生らしく全力で走り抜ける諦めない姿に熱くなりました。また集団演技「チャレンジ体操54」は本年度も例年の伝統を受け継ぎ、男子は「集団行動」、女子は「創作ダンス」を実施しました。ご観覧いただいた、皆様の拍手や笑い、感嘆の声、集団演技に高い評価を頂いたものと思っております。

「King of 西高」・「Queen of 西高」では、男子は新たなチャンピオン、女子は2連覇と歴史が塗り替えられました。最後を飾る「ブロック対抗リレー」では、総合優勝に大きくかわる大事な種目ということもあり、選手達の必死さと、歓声や各ブロックの応援で大盛り上がりでした。保護者の皆様、今回は急な態度変更にもかかわらず最後まで応援をいただき、誠にありがとうございました。来年度も今年を超える体育大会を目指して学校一丸となり取り組んでまいります。

【結果】(総合の部)	優勝	黄ブロック	第2位	赤ブロック
(装飾の部)	優秀賞	黄ブロック		
(応援の部)	優秀賞	黄ブロック		
(学級対抗リレー)	[1年]男子	1位1組	女子	1位5組
	[2年]男子	1位1組	女子	1位2組
	[3年]男子	1位5組	女子	1位6組



芸術鑑賞会について 「今年の芸術鑑賞会は、演劇です！」

今年度の芸術鑑賞会は、「孤児」である3人の出会いが、孤独を抱えながらも真剣に相手と向き合うことで、新たな一歩を発見していくというストーリーとなっております。鑑賞を希望される保護者の方は、無料で入場できます。ただし、駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

日時	10月30日(水)	13:30	開演予定
会場	佐世保西高校体育館		
演目	Touch ~孤独から愛へ		
出演者	東京演劇集団 風		

西高祭 西高祭を振り返って

今年も西高祭のオープニングを飾ったのは、本校職員と吹奏楽部によるコラボレーション「L e m o n」の演奏でした。

風雅 ～新たな文化への軌跡～をテーマに9月7日、8日の両日、西高祭を開催いたしました。

本年度も多くの文化部を巻き込みチャレンジした『文化部コラボレーション』を行い、舞台での充実を図るとともに、クオリティの高い西高祭を目指しました。

1日目は、文化部をはじめ、各学年等の文化活動発表が行われました。2日目は、各クラス趣向を凝らした展示やバザー、そして昨年度から力を入れ取り組んでいるクラス劇と様々な催し物がありました。また今年度は、オープンスクールを同時開催したこともあり、昨年度以上に来校者も多く大変賑わった2日目となりました。そして、閉会セレモニーでは、恒例となった校歌大合唱を行い、全員で肩を組んで校歌を歌った後、今年の西高祭は幕を閉じました。



《10月の行事予定》

1	(火)	前期期末考査(最終日)	10	(木)	センター試験100日前集会(保護者参加可)
2	(水)	球技大会(午後)	12	(土)	進研記述(3年)～13日まで
3	(木)	球技大会(終日)	14	(月)	体育の日
4	(金)	前期終業日	15	(火)	長崎大学講義体験(1年)
5	(土)	第2回英検(1次)	22	(火)	即位礼正殿の儀
7	(月)	秋季休業日(5～7日まで)	24	(木)	人生の達人セミナー
8	(火)	後期始業式	26	(土)	大学別模試(3年)
			30	(木)	芸術鑑賞会

主な試合などの結果

<ソフトボール部> 令和元年度長崎県高等学校新人体育大会ソフトボール競技大会 第3位
 <ソフトテニス部> 令和元年度長崎県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技佐世保地区予選
 女子団体 **優勝** 男子個人 第3位 浅井・前川ペア
 <弓道部> 令和元年度 長崎県高等学校佐世保地区新人体育大会弓道競技
 男子団体 **優勝**
 <陸上部>
 令和元年度第74回九州陸上競技選手権大会兼第104回日本陸上競技選手権大会予選
 女子ジュニア走高跳 第2位 岩崎 萌

主な試合などの結果

<陸上部>

○令和元年度佐世保地区高校新人陸上競技大会 **男子総合優勝!** **女子総合優勝!**

男子100m 第1位 大串翔大
 男子200m 第1位 浦 歩望、 第2位 大串翔大
 男子400m 第1位 浦 歩望、 第2位 緒方秀幸
 男子110mH 第2位 田代立輝、 男子400mH 第3位 金子 新
 男子走高跳 第2位 別当楓夏、 第3位 金丸慶太郎
 男子走幅跳 第2位 武田 晃太郎、 第3位 金子 新
 男子三段跳 第1位 武田 晃太郎
 男子4×100mR 第3位 浦 歩望、大串翔大、江口 聡、塚本航大
 男子4×400mR 第3位 江口 聡、浦 歩望、武田 晃太郎、緒方秀幸
 女子100m 第1位 稲田沙紀 女子400m 第1位 森 愛里
 女子100mH 第1位 岩崎 萌、 第2位 喜多ももか
 女子400mH 第2位 古市 滯
 女子走高跳 第1位 稲田沙紀、第2位 岩崎 萌、第3位 グレージャーメグ
 女子走幅跳 第1位 森 愛里、 第2位 黒石るな、第3位 廣重めかり
 女子三段跳 第1位 黒石るな、 第2位 グレージャーメグ
 女子砲丸投 第2位 1-1 坂井悠空、 女子やり投げ 第3位 喜多ももか
 女子4×100mR 第1位(大会新) 稲田沙紀、森 愛里、黒石るな、岩崎 萌
 女子4×400mR 第1位 古市 滯、黒石るな、稲田沙紀、森 愛里
 ○令和元年度長崎県高等学校新人体育大会陸上競技
 男子走高跳 第3位 別当 楓夏(九州大会出場)
 女子400mH 第3位 古市 滯(九州大会出場)
 女子三段跳 第1位 黒石るな(九州大会出場)
 女子走高跳 第2位 稲田沙紀(九州大会出場)
 女子4×400mR 第3位 森 愛里、稲田沙紀、黒石るな、古市 滯(九州大会出場)
 女子七種競技 第3位 喜多ももか

<美術部>

○長崎県美術展 **NCC文化放送賞** 内海 勝太郎
 入選 前山 裕泉、 新鋭賞 古瀬ひまり(昨年度卒)

<第74回いきいき茨城ゆめ国体2019出場選手>

○ソフトボール競技 清原一真、宮崎豊真、調 大輔
 日程: 9月29日(日)～10月1日(火) 茨城県下妻市 砂沼広域公園野球場、柳原野球場
 ○陸上競技: 小鳥居勇太
 日時: 10月4日(金)～8日(火) 茨城県ひたちなか市 笠松運動公園陸上競技場